



図書委員おすすめ本



川口俊和著『コーヒーが冷めないうちに』（サンマーク出版）

この本は、過去に戻ることでできる「フニクリフニクラ」という喫茶店を舞台に、4人の女性がそれぞれ大事な人に会いに過去に戻るお話です。過去に戻ったとしても現実が変わることはないし、戻れるのはコーヒーをカップに注いでからコーヒーが冷めてしまうまでの間だけといった、5つの非常にめんどくさいルールがあります。それでも4人の女性達は、それぞれの事情でもう会うことのできなくなってしまった人に会いに行きます。

私はこの本を読んで、いつも身近にいて当たり前だと思っている人は、いつ、自分の目の前から消えてしまうかわからないということを知り、感謝や想いを日ごろからもっと伝えていかないと、この本の登場人物のように後悔してからでは、もう手遅れだということを教わりました。この物語では過去に戻ることができるけれど、現実には過去に戻り、もう一度会って、話をするなどできません。この本を皆さんに読んでもらい、自分の身近にいる大切な人のありがたみを少しでも多くの人達に知ってもらえたらいいなと思います。ぜひ読んでみてください。

（2年1組 千ヶ崎菜海）



有川浩著『旅猫レポート』（講談社）

この本は福土蒼汰さん主演で映画化されています。とても感動する本なので本が苦手な人でもDVDから始めてみるのも良いと思います。

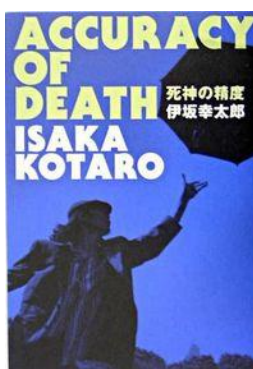
あらすじを紹介していきます。この本の主人公は悟という男です。悟には昔飼っていたハチという猫がいます。しかしある事がきっかけで離れ離れになりハチに会えずハチはこの世を去ってしまいました

月日が経ち再び野良猫と出会います。その猫はナナと名付け飼いました。しかし悟がナナを飼えなくなる出来事がおきます。それによってナナを幸せにしてくれる

飼い主を探しに旅にでます。

どうなったか気になる人はぜひ本を買ってみてください。この本は猫好きにもそうでない方も見て欲しい作品なので少しでも興味が湧いた方は読んでみてはいかがでしょうか？

（2年2組 宇津野風）



伊坂幸太郎著『死神の精度』（文藝春秋）

この本の主人公である死神の千葉は、死神の世界で選ばれたターゲットの人間が本当に“死”を実行するのに適しているか判断する仕事をしており、ターゲットの相手に合わせた外見や年齢の人間になりすまして調査を行います。

千葉は真面で冷静な人物ですが、音楽をこよなく愛しています。なぜかという、死神の世界には音楽を聴くことができません。なので、千葉や他の死神たちはCDショップに集まります。この光景は不思議ではありますが、人間味もあって面白いなと思いました。

注目して読んでほしい場面はターゲットとなる人間との会話です。死神の考えは人間からすると変わっていてズレていると感じることもありますが、千葉の冷静な心の中のツッコミもあり面白いです。

この本の特徴は短編集であることです。ターゲットの六人の人生は様々ですが、つながっている部分もあり物語を読み進めるごとに面白くなります。小説は長くてなかなか手の出せない人にもおすすめです。ぜひ読んでみてください。

（2年2組 山田果恋）



新着(予定)本 紹介

①知る・読む・調べる ①哲学・心理学・宗教

佐藤優 『学びのカタチ』	白辺陽 『生成 AI』
斎藤孝 『読書大全』	井上智洋 『AI 失業』
伊佐敷隆弘 『死んだらどうなるのか』	間中健介 『キャリア弱者の成長戦略』

②歴史・伝記・地理 ③社会

河本大地 『地理・歴史・SDGsの視点でひも解く日本の世界遺産』	
小川金男 『皇室の茶坊主』	ソカッチ 『イスラエル』
野口悠紀雄 『2040年の日本』	原島広至 『世界人口図鑑』
兼原信克 『官邸官僚が本音で語る権力の使い方』	豊田直巳 『それでも「ふるさと」あの日から10年』
野口悠紀雄 『どうすれば日本経済は復活できるのか』	豊田直巳 『百年後を生きる子どもたちへ』
坂井きょうこ 『PayPay ではじまる最高に便利でおトクな生活』	横山広美 『なぜ理系に女性が少ないのか』
S&T OUTCOMES 『民間人のための戦場行動マニュアル』	藤澤志穂子 『学習院女子と皇室』

④科学 ⑤技術 ⑥産業

茜灯里 『ビジネス教養としての最新科学トピックス』	加藤崇 『水道を救え』
芹沢健介 『がんの消滅』	松田達 『建築思想図鑑』
小若順一 『脳にも悪い違反食品』	窪田新之助 『誰が農業を殺すのか』
高須賀とき 『ほんとうの医療現場の話しよう』	

⑦スポーツ

サンケイスポーツ 『よみがえるノムラの金言』	伊藤亜紗 『見えないスポーツ図鑑』
島内秀晃 『どんな男になんねん』	中島大輔 『山本由伸』
徳増浩司 『君たちは何をめざすのか』	東尾修 『負ける力』
磯貝浩久 『E スポーツの科学』	森合正範 『怪物に出会った日』

⑧ことば ⑨文学

宮崎哲也 『教養としての上級語彙』	大沢在昌 『闇先案内人』
戸田山 和久 『最新版 論文の教室』	東野圭吾 『あなたが誰かを殺した』
ごく普通の外国人がっちゃん 『がっちゃん英語』	加藤シゲアキ 『なれのはて』
朝日新聞論説委員室 『天声人語〈2022年7月-12月〉』	逢坂冬馬 『歌われなかった海賊へ』
黒柳徹子 『続窓ぎわのトットちゃん』	馳星周 『ロスト・イン・ザ・ターフ』
西加奈子 『くもをさがす』	夕木春央 『十戒』
ホロヴィッツ 『ナイフをひねれば』	浅原ナオト 『今夜、もし僕が死ななければ』
	榎木理宇 『監禁依存症』『殺人依存症』

図書委員活動報告

○現在、グループに分かれてビブリオバトル中です！ チャンプ本が出そろいましたらご報告します。

○11月2日(木) 県南地区図書委員研修会(土浦市立図書館にて)が開かれました。

本校は主催者のため、役員およびサポート生徒、頑張りました。

